

## 13. 学科又はコースへの所属と学習課程案内

### 1. 学科又はコースへの所属について

#### 学科又はコースへの所属と学科の所属人数

諸君は1年次においては各類に所属していますが、2年次からは各学科又はコースに所属することになります。学科又はコースに所属するためには所定の科目を履修し、所定の単位を修得していなければなりません。（必要単位は(2)学科又はコース所属に必要な単位 表20を参照してください。）

表 19 学科及びコース別所属人数

区分	類	学科及びコース	所属人数	区分	類	学科及びコース	所属人数
理学部	第1類	数 学 科	25	工学部	第4類	機械知能システム学科	40
		物 理 学 科	54			機 械 宇 宙 学 科	40
		化 学 科	37			国 際 開 発 工 学 科	40
		情 報 科 学 科	34			社 会 工 学 科	4
		地球惑星科学科	35			制 御 シ ス テ ム 工 学 科	43
工学部	第2類	金 属 工 学 科	33		第5類	電 気 電 子 工 学 科	82
		有 機 材 料 工 学 科	20			情 報 工 学 科	102
		無 機 材 料 工 学 科	30			社 会 工 学 科	4
		社 会 工 学 科	2		第6類	土 木 ・ 環 境 工 学 科	34
	化 学 工 学 科 化学工学コース	35	建 築 学 科			45	
	化 学 工 学 科 応用化学コース	35	社 会 工 学 科	21			
	第3類	高 分 子 工 学 科	30	第7類	生 命 科 学 科	75	
		社 会 工 学 科	2		生 命 工 学 科	75	
		経 営 シ ス テ ム 工 学 科	36		工学部	社 会 工 学 科	3
	第4類	機 械 科 学 科	52				

ところで、学科又はコースには表19のとおり、所属人数が定められていますが、実際に所属できる人数（受入数）は、当該年度の所属有資格者の数によって増減します。

また、国際開発工学科の所属人数には、入学時に所属学科が決定している外国人留学生定員20名が含まれていますので、この人数を差し引いた20名がこれら外国人留学生以外の所属人数となります。

学科又はコースへの所属は、学生の志望順と1年次の学業成績順（志望順が優先）によって決定されますので、成績順によって所属人数を超えた場合必ずしも諸君の希望する**学科又はコース**に所属できるとは限りなくなくなります（第2志望以下）。

学科又はコースへの所属にともなって、**所属する学部**も自動的に決定します。

所属する学科又はコースは諸君の志望と1年次（前・後学期）の成績によって決定されますから、この点十分注意して、1年次の初めから学習をおこたらないよう心がけてください。

## 所属学科又はコース決定の方法

### (1) 志望学科又はコースの申告

学科又はコース所属については、10～11月頃に学科所属オリエンテーション及び類又は学科によるオリエンテーションが行われ、内容について説明します。掲示板等で周知しますので掲示物等に留意してください。

志望学科又はコースの申告は、自身の学習成績も考え合わせながら、原則として類内の学科又はコースについて志望順位（第1志望、第2志望、……）を決めて申告することになります。

### (2) 学科又はコース所属の資格

1年次において次の単位(表20)を取得していないと、学科又はコースに所属することができなくなります。（学部学習規程第16条）

表 20 学科又はコース所属に必要な単位

区 分	学科又はコース所属に必要な単位
文 系 科 目 (文系ゼミを除く)	4単位以上
国際コミュニケーション科目	2外国語 6単位以上
理 工 系 基 礎 科 目	14単位以上
健 康 ・ ス ポ ー ツ 科 目	1単位以上

(注) 国際コミュニケーション科目6単位以上については、国際コミュニケーションⅠ（英語）のほか、国際コミュニケーションⅡ（ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語のうち一外国語）をもって満たさなければなりません。

### (3) 選考と決定

学科又はコースへの所属は、学科又はコースの受入数と有資格者の志望及び成績（不合格点も得点計算の対象となります。）によって決定されますが、その選考方法は類によって異なり、おおよそ次のとおりとなります。

#### 「1類」

- ア 各学科の受入数は、類内の有資格者を表19に示す学科の所属人数で比例配分（比例値）し、その105%（上限人数）の範囲内の人数となります。
- イ 類内で所属を志望できる学科は、第三志望順位までとなります。
- ウ 第一志望順位の志望者数が、比例値（小数点以下の端数がある場合は、その端数を切り捨てた数）までの場合はそのまま所属を決定することになります。
- エ 上記イ・ウで所属が未決定の者は、表21に示すA群、B群、C群の計12授業科目の総得点により、各学科の上限人数を超えないことを条件に志望順位を優先し、高得点順に所属を決定することになります。
- オ 上記ウ・エで所属が未決定の者は、本人の希望を聞いて、類主任が収容可能な学科長と相談し所属を決定することになります。

#### 「2類・3類・4類・5類・6類・7類」

- ア 学科又はコースの受入数は、類内の有資格者を表19に示す学科又コースの所属人数で比例配分（比例値）し、その90%（下限）から110%（上限）の範囲内の人数となります。  
ただし、6類については、所属人数から、土木・環境工学科についてはAO入試の総合問題Aを受験した者から最大5名、建築学科については総合問題Bを受験した者から最大7名、社会工学科については総合問題Cを受験した者から最大3名をそれぞれ差し引いた数が学科所属実施要項に基づく所属人数となります。  
国際開発工学科については、所属人数から外国人留学生定員20名を差し引いた数、20名が学科所属実施要項に基づく所属人数となります。  
なお、第2・3・4・5・7類における社会工学科の上限人数は、所属人数に1名を加えた人数とし、下限人数はありません。
- イ 学科又はコースへ所属する人数は、下限を下回らないこととなります。
- ウ 第1志望による志望者数が比例値（小数点以下の端数がある場合は、その端数を切り上げた数。以下「比例人数」という。）までの場合は、そのまま所属を決定することになります。
- エ 第1志望による志望者数が比例人数を超過した場合は、表22から表27の類ごとに指定した授業科目の総得点により、「比例人数」まで高得点順に所属を決定することになります。
- オ 上記ウ・エで所属が未決定の者は、各学科又はコースの下限から上限までの受入数により、志望順位を優先し、類毎に指定した授業科目の総得点の高得点順に所属を決定することになります。

学科又はコース所属に必要な単位を1年次において修得できなかった者は、翌年度に不足単位を修得し、改めて志望しなければなりません。

## 所属類以外の学科又はコース所属

所属類以外の学科又はコース所属において、安易な選択はできませんが、希望する場合は、次により取り扱われます。

- (1) 学科又はコース所属の資格を満たしていること。
- (2) 志望することができる学科又はコースは1学科等となること。
- (3) 所属している類から転出することができる人数は、転出する類の有資格者の5%以内とし、表28に示すA群、B群、C群の12授業科目の合計得点（共通得点）の成績順位の高得点順に選考されること。
- (4) 他類の学科又はコースに転入することができる人数は、共通得点の成績順位が志望する学科又はコースに属する類の有資格者の上位1/2以内で、かつ、志望する学科又はコースが定める表29の受入数以内とし、共通得点の高得点順に選考のうえ決定されること。

なお、所属類以外の学科又はコース所属を希望する場合には、申告前に所属類主任のガイダンスを受け、承認を得ることが必要になります。

## 一旦所属した学科又はコースの変更について

所属学科又はコースの変更は、希望する学科又はコースの所属人数に余裕のある場合には、許可されることがあります。変更希望者は所定の期日までに所属学科長の許可を得たうえで、所属学部の学部長（受付は教務課担当窓口）に願い出る必要があります。希望する学科等の属する学部の学部長等が、学習状況その他について審査のうえ許可されることとなります。その他学部学習規程18条（標準学習課程によらない履修）も活用できることもありますので所属学科長等とよく相談してください。なお、学期途中での変更は認められません。

表 21

(第1類)

群	授 業 科 目	得点に数える授業科目数
A 群	微分積分学第一，同第二B，線形代数学第一，同第二B，物理学A，同B，同C，化学第一，同第二，基礎生物学A又は宇宙地球科学A，基礎生物学B，宇宙地球科学B，コンピュータサイエンス入門	左記授業科目中成績の良い科目から7授業科目
B 群	微分積分学演習第一，同第二，線形代数学演習第一，同第二，基礎物理学演習，基礎物理学実験，化学実験第一，同第二，基礎生物学実験，宇宙地球科学基礎ラボ1，同2，同3	左記授業科目中成績の良い科目から2授業科目
C 群	英語1，英語2，ドイツ語初級1，同2，フランス語初級1，同2，ロシア語初級1，同2，中国語初級1，同2 TOEIC試験（得点の換算：500未満0，500以上60+40×（試験の点数－500）/300，800以上100）	左記授業科目中成績の良い科目から3授業科目
計	36授業科目	12授業科目

※TOEIC試験は授業科目ではありませんが、学科所属では授業科目とみなします。

表 22

(第 2 類)

群	授 業 科 目	得点に数える授業科目数
A 群	微分積分学第一, 同第二B, 線形代数学第一, 同第二B, 物理学A, 同B, 化学第一, 同第二, 微分積分学演習第一, 同第二, 線形代数学演習第一, 同第二, 基礎物理学演習, コンピュータサイエンス入門	左記授業科目中成績の良い科目から8授業科目
B 群	基礎物理学実験, 化学実験第一, 同第二, 基礎生物学実験	左記授業科目中成績の良い科目から2授業科目
C 群	英語1, 同2, ドイツ語初級1, 同2, フランス語初級1, 同2, ロシア語初級1, 同2, 中国語初級1, 同2	英語1, 同2と英語以外の左記授業科目中成績の良い科目から1授業科目の合計3授業科目
D 群	材料科学セミナー, 材料科学A	左記2授業科目
計	30授業科目	15授業科目

表 23

(第 3 類)

群	授 業 科 目	得点に数える授業科目数
A 群	微分積分学第一, 同第二B, 線形代数学第一, 同第二B, 物理学A, 同B, 基礎生物学A又は宇宙地球科学B, 基礎生物学B又は宇宙地球科学A	左記授業科目中成績の良い科目から5授業科目
B 群	微分積分学演習第一, 同第二, 線形代数学演習第一, 同第二, 基礎物理学演習, 基礎物理学実験, 化学実験第一, 同第二	左記授業科目中成績の良い科目から2授業科目
C 群	英語1, 同2, ドイツ語初級1, 同2, フランス語初級1, 同2, ロシア語初級1, 同2, 中国語初級1, 同2	左記授業科目中成績の良い科目から3授業科目
D 群	有機化学(工)第一, 化学第一, 同第二	左記 3授業科目
計	29授業科目	13授業科目

表 24

(第 4 類)

群	授 業 科 目	得点に数える授業科目数
A 群	微分積分学第一, 同第二B, 線形代数学第一, 同第二B, 物理学A, 同B, 同C, 化学第一, 同第二, 基礎生物学A又は宇宙地球科学A, 基礎生物学B又は宇宙地球科学B, 図学・図形科学第一又は同第二, コンピュータサイエンス入門	左記授業科目中成績の良い科目から7授業科目
B 群	微分積分学演習第一, 同第二, 線形代数学演習第一, 同第二, 基礎物理学演習, 基礎物理学実験, 化学実験第一, 同第二, 基礎生物学実験, 宇宙地球科学基礎ラボ1又は同2又は同3	左記授業科目中成績の良い科目から2授業科目
C 群	英語1, 同2, ドイツ語初級1, 同2, フランス語初級1, 同2, ロシア語初級1, 同2, 中国語初級1, 同2	左記授業科目中成績の良い科目から3授業科目
D 群	工業力学第一, 同第二	左記2授業科目
計	35授業科目	14授業科目

表 25

(第 5 類)

群	授 業 科 目	得点に数える授業科目数
A 群	微分積分学第一, 同第二B, 線形代数学第一, 同第二B, 物理学A, 同B, 化学第一, 同第二, 微分積分学演習第一, 同第二, 線形代数学演習第一, 同第二, 基礎物理学演習, コンピュータサイエンス入門	左記授業科目中成績の良い科目から8授業科目
B 群	5類F1ゼミ, 基礎物理学実験, 化学実験第一, 同第二	左記授業科目中成績の良い科目から1授業科目
C 群	英語1, 同2	左記2授業科目
D 群	情報基礎学, 電気電子基礎学	左記2授業科目
E 群	コンピュータリテラン, 文系科目のうち1・2学期推奨の授業科目	左記授業科目中でコンピュータリテランとそれ以外の成績の良い科目1授業科目
計		15授業科目

表 26

(第 6 類)

群	授 業 科 目	得点に数える授業科目数
A 群	微分積分学第一, 同第二B, 線形代数学第一, 同第二B, 物理学A, 同B, 同C, 化学第一, 同第二, 基礎生物学A又は基礎生物学B, 宇宙地球科学A又は宇宙地球科学B, 図学・図形デザイン第一又は同第二	左記授業科目中成績の良い科目から7授業科目
B 群	微分積分学演習第一, 同第二, 線形代数学演習第一, 同第二, 基礎物理学演習, 基礎物理学実験, 化学実験第一, 同第二, 基礎生物学実験又は宇宙地球科学基礎ラボ1, 図学製図	左記授業科目中成績の良い科目から2授業科目
C 群	英語1, 同2, ドイツ語初級1, 同2, フランス語初級1, 同2, ロシア語初級1, 同2, 中国語初級1, 同2	左記授業科目中成績の良い科目から3授業科目
D 群	6類特別講義第一, 同第二	左記2授業科目
E 群	文系科目のうち1・2学期推奨の授業科目	左記授業科目中成績の良い科目から1授業科目
計		15授業科目

表 27

(第 7 類)

群	授 業 科 目	得点に数える授業科目数
A 群	微分積分学第一, 同第二A, 同第二B, 線形代数学第一, 同第二A, 同第二B, 物理学A, 同B, 同C, 化学第一, 同第二, 基礎生物学A又は宇宙地球科学A, 基礎生物学B又は宇宙地球科学B, 図学・図形デザイン第一又は同第二	左記授業科目中成績の良い科目から7授業科目
B 群	微分積分学演習第一, 同第二, 線形代数学演習第一, 同第二, 基礎物理学演習, 基礎物理学実験, 化学実験第一, 同第二, 基礎生物学実験, 宇宙地球科学基礎ラボ1, 同2, 同3, 図学製図	左記授業科目中成績の良い科目から2授業科目
C 群	英語1, 同2, ドイツ語初級1, 同2, フランス語初級1, 同2, ロシア語初級1, 同2, 中国語初級1, 同2 TOEIC試験 (得点の換算: 試験の点数×1/9, 100点を超える場合は100点とする。)	左記授業科目中成績の良い科目から3授業科目
計	38授業科目	12授業科目

※ TOEIC試験は授業科目ではありませんが, 学科所属では授業科目とみなします。

表 28

(所属類以外への学科等所属)

群	授 業 科 目	得点に数える授業科目数
A群	微分積分学第一, 同第二A, 同第二B, 線形代数学第一, 同第二A, 同第二B, 物理学A, 同B, 同C, 化学第一, 同第二, 基礎生物学A又は宇宙地球科学A, 基礎生物学B又は宇宙地球科学B, 図学・図形デザイン第一若しくは同第二又は図学・図形科学第一若しくは同第二	左記授業科目中成績の良い科目から7授業科目
B群	微分積分学演習第一, 同第二, 線形代数学演習第一, 同第二, 基礎物理学演習, 基礎物理学実験, 化学実験第一, 同第二, 基礎生物学実験, 宇宙地球科学基礎ラボ1, 又は同2, 又は同3, 図学製図	左記授業科目中成績の良い科目から2授業科目
C群	英語1, 同2, ドイツ語初級1, 同2, フランス語初級1, 同2, ロシア語初級1, 同2, 中国語初級1, 同2	左記授業科目中成績の良い科目から3授業科目
計	35授業科目	12授業科目

表 29

学 部	学科及びコース	受入数	学 部	学科及びコース	受入数
理 学 部	数 学 科	5%	工 学 部	機 械 宇 宙 学 科	5%
	物 理 学 科	5%		国 際 開 発 工 学 科	5%
	化 学 科	5%		制 御 シ ス テ ム 工 学 科	2人
	情 報 科 学 科	2人		経 営 シ ス テ ム 工 学 科	2人
	地 球 惑 星 科 学 科	5%		電 気 電 子 工 学 科	4人
工 学 部	金 属 工 学 科	5%		情 報 工 学 科	4人
	有 機 材 料 工 学 科	5%		土 木 ・ 環 境 工 学 科	2人
	無 機 材 料 工 学 科	5%		建 築 学 科	5%
	化 学 工 学 科			社 会 工 学 科	3人
	化学工学コース	2人			
	応用化学コース	5%	生 命 理 工 学 部	生 命 科 学 科	5%
	高 分 子 工 学 科	5%		生 命 工 学 科	5%
機 械 科 学 科	3人				
機 械 知 能 シ ス テ ム 学 科	5%				

(注) 受入数の%は, 学部学習規程第16条第3項に定める所属人数に対する比率。

## 2. 学習課程について

### 学習課程

学科又はコースに所属した学生は、助言教員等の指導により学習計画を立て、履修をすることになります。この場合、一般には標準学習課程というのが設けられているのでそれに従うのが実際の、かつ有効です。しかし目的によっては標準学習課程以外の課程を設けることもできます。（学部学習規程第18条）

### 標準学習課程による場合

標準学習課程は、それぞれの分野の研究者、技術者又は教育者となるために学習すべき標準のもので、時間割はその学習に支障のないように編成されています。各学科の標準学習課程は表30のとおりです。

各標準学習課程の詳細については、あとで述べますが、これらの学習課程に示された条件には若干の自由度があり、他の学習課程にあげられた授業科目の履修もある程度可能です。諸君は学科長、助言教員と相談し、各自の希望に応じて学習計画を立てるのがよいであろう。

### 標準学習課程によらない場合

科学技術の発展に伴って要求される新しい分野の技術者、研究者又は教育者となることを積極的に希望する場合には、学部学習規程第18条に示してあるように、標準学習課程以外の学習計画を立てて、適当な科目を選択、履修することもできます。

この場合は、2年次の初めからいずれかの学科又はコースに所属しているもので、標準学習課程の科目と対応するような計画書をつくり、できるだけ早く（4月の学習申告前に）所属学科長の承認を受け、これを学部長に提出しなければなりません。

なお、提出書類は、教務課で受け付けます。

この計画は、2年次から卒業までの全期間にわたるもので、慎重を要しますが、いずれにしても第4学期までは、ほぼ、その学科の推奨する標準学習課程にそって履修することになるでしょう。なお、このような計画に際しては、時間割についても検討し、学習に支障のないようにすることが必要となります。

表 30 学科又はコースと標準学習課程

学部	所属学科又はコース	標準学習課程	学部	所属学科又はコース	標準学習課程
理 学 部	数 学 科	数 学 標 準 学 習 課 程	工 学 部	機械知能システム学科	機械知能システム学標準学習課程
	物 理 学 科	物 理 学 標 準 学 習 課 程		機 械 宇 宙 学 科	機 械 宇 宙 学 標 準 学 習 課 程
	化 学 科	化 学 標 準 学 習 課 程		国 際 開 発 工 学 科	国 際 開 発 工 学 標 準 学 習 課 程
	情 報 科 学 科	情 報 科 学 標 準 学 習 課 程		制 御 シ ス テ ム 工 学 科	制 御 シ ス テ ム 工 学 標 準 学 習 課 程
	地 球 惑 星 科 学 科	地 球 惑 星 科 学 標 準 学 習 課 程		経 営 シ ス テ ム 工 学 科	経 営 シ ス テ ム 工 学 標 準 学 習 課 程
工 学 部	金 属 工 学 科	材 料 工 学 標 準 学 習 課 程		電 気 電 子 工 学 科	電 気 電 子 工 学 標 準 学 習 課 程
	有 機 材 料 工 学 科			情 報 工 学 科	情 報 工 学 標 準 学 習 課 程
	無 機 材 料 工 学 科			土 木 ・ 環 境 工 学 科	土 木 工 学 標 準 学 習 課 程
	化 学 工 学 科	化 学 工 学 標 準 学 習 課 程		建 築 学 科	建 築 学 標 準 学 習 課 程
	化 学 工 学 コース			社 会 工 学 科	社 会 工 学 標 準 学 習 課 程
	応 用 化 学 コース		生 命 理 工 学 部	生 命 科 学 科	生 命 科 学 標 準 学 習 課 程
	高 分 子 工 学 科	高 分 子 工 学 標 準 学 習 課 程		生 命 工 学 科	生 命 工 学 標 準 学 習 課 程
機 械 科 学 科	機 械 科 学 標 準 学 習 課 程				